



春らんまん

花巡り、花愛で散歩はいかが!

小平市

こだいら オープンガーデンをめぐる

個人の庭を一定期間公開して、季節の植物を楽しみながら、訪れた人との交流を深めるオープンガーデン。その中の何軒かを訪ねてみました。

カモミールの庭に めん処もオープン 森田邸はふれあいの場

玉川上水小川橋近く、玉川上水に沿う縁のアーチをくぐると森田光江さんの庭。4月下旬からカモミールの花々で埋め尽くされます。それからワイルドフラワー、マトリカリア、カンパニュラ、レースフラワー、ひまわりなどなど百花繚乱。小さなログハウス前にあるテーブルでカモミールティーも頂けます。1杯百円の代金は福祉へ寄付されます。夏にはとれたて野菜の直売もやっています。

小さい頃から大の花好きだった森田さんは野菜畑の一部を花畑に変身させました。

「花を通して多くの人々とふれあうのが何よりうれしい」と花とともに暮らす毎日。初対面の人とでも瞬時に

に友だちになれる元気印の森田さんに、パワーをもらいに遠方から来る人もいるほどです。

花に加えて、4月8日には庭内にある貸家の1軒をリフォームして、手打ちそばとうどんの店「めん処松根」がオープン。ここはそば打ち教室の先生、松根典子さんが森田さんの協力で始めたもの。丹精の花々と美味しい手打ち類、玉川上水沿いの名所になりそうです。(通年開放)

★小平市小川町1-647-3
☎042(341)6706



絵本作家ターシャ・チューダーの暮らしに憧れる森田さん

花の名を覚えながらテラスでお茶

バラのアーチが目印のグリーンロード沿い、カフェ・ラグラスの前庭は開店中であれば、いつでも見学OK。アーチから店入口までの両側に植えられた百種類に及ぶ花やハーブ。花に名札があるのがうれしい。造られた庭というより自然の中にあるような心地よさ。5月下旬からはフェン

ス側にあるバラが見頃を迎えます。大輪のバラではなく、ここの庭にマッチした野趣溢れるバラたち。散歩の途中に外のテラスでお茶するのもグーですね。(通年開放)

★小平市美園町1-24-14
☎042(344)7199

四季の花咲く花園 中山小児科医院

鈴木町1丁目、住宅街の中にある中山小児科の向かい側駐車場隣は誰でも入れる花の庭。レンガの小径、ツルバラのパーゴラの下には小さなベンチもあって、診察の待ち時間に休めそうです。1年中花が絶えないこの庭の世話をしているのは院長の中山康子さん。1日に80〜90人もの子ども達を診ている先生です。

「診察室からも庭が見えるようにしたんですよ。イチゴやブルーベリーもありますから、子どもたちに見つけたら食べてみてと言っています。ガーデニングは何も考えず一番ポーツとできる時間。私にとってこれに勝る癒しはないですね」訪れる人たちにも癒しを与えてくれる優しい庭です。(通年開放)

★小平市鈴木町1-30-20
☎042(322)1231



アイデア溢れる 長い塀のハンギング 井上邸の花は二人三脚で

あかしあ通りと青梅街道交差点の南西、青梅街道から少し入ると、60mはありそうな大谷石の塀にズラリと並んだ、数え切れないほどのハンギング。あらゆる春の花々が個性的な鉢に入れられギャラリイのように、道行く人々の目を楽しませています。

ウエルカムボードが掛けられた邸内に入ると、そこにも井上正さん、昭子さん夫妻が自然を取り入れデザインした前庭



が。ツルや枝や板を使って正さんが作った鉢に色を塗り、昭子さんが十几年来の趣味であるツールペイントの腕を活かして、絵を描くのです。市のガーデニングコンテストで夫婦合作の作品を出品して、金賞をとった経験も。手作りの鉢に混じって、コーヒーマグや釜、中華鍋など廃品を利用した、ユニークな寄せ植えを

発見するのも楽しい。お二人のセンスと絶妙のコンビネーションの中に、ガーデニングのヒントがいっぱいあります。

中庭には盆栽が何列も。その中には百年たつ盆栽もあるとか。樹木も多種、5月からは昭子さんの好きなムギセンノウの花や皇帝ダリアが咲きます。(通年開放)

★小平市仲町461
042(341)0155

こだいらオープンガーデンの数は現在15軒。
市内公共施設でマップが手に入ります。
(問)042(346)9581 産業振興課



市民の手作り、見事なバラ

芝久保バラ園



西東京市
青梅街道橋場の
交差点から花小金井

駅方向へ向かう住宅街の中、芝久保第一児童遊園の北側にある約350㎡のバラ園。5年前までは長寿農園という市民農園だったものを市と協力して、NPO法人「西東京花の会」の手でバラ園として開設したものだ。

園内には128もの品種のバラが植えられています。四季咲きのハイブリッドティー系、フロリバンダ系、香りのいいオールドローズが周囲を飾り、フェンス側には修景バラ、中央の芝生にはポール仕立てや垂れ下がる傘のようなウィーピング仕立てにして工夫してあります。5月20日

過ぎ頃に1番花が咲き始め、溢れるばかりの美しさに彩られる最盛期には1日に百人以上が訪れ、毎年バスを仕立ててやってくる団体さんも。スケッチや写真撮影の人々でも大いに賑わいます。

見るだけではなく、バラ栽培の勉強の場、実践の場とし

てつくられているのがこの園の特徴。バラの原種であるハマナシも植えられているのです。5年前、荒れていたこの土地の草取りから始めた、西東京花の会の上松淳一さんは企業の植物関連部門にいた専門家。同会が催す人気の「バラ栽培実践教室」の講師として技術指導にもあたっています。

バラ園の班長を務める小山田勇治さんとともに時期になると2週間に1回は芝刈りをし、花への目配り、管理で大忙し。けれどもバラを語る表情は実に楽しそう。バラを愛する気持ちが伝わってきました。葉っぱの1枚も落ちていないきれいな園内はすぐ近くに住む主婦の方が毎朝、掃除をしてくれるお蔭だとか。市民に大切に育てられ、守られてきたバラ園。バラ好きの方、必見ですよ。



小田山さん(左)と上松さん
★西東京市芝久保町2-21
(問)042(462)5294
西東京花の会

特集



秋津小学校のバラ園



東村山市

「ロサート

東村山市立秋津小学校の校庭にはバラ園があります。毎年5月中旬の週末に一般開放され、昨年は2日間で500人もの見物客があったとか。

白いノバラのトンネル、バラの小径、バラのドーム、五月の空の下で咲き誇るバラは本当に見事です。「校内にこんな空間があるなんて素晴らしい。美しいものには心動かされる。そんな環境があることに驚嘆します」と訪れる人が賞賛するバラ園。バラづくりの名人で、以前秋津小に勤務していた地釜政弘さんが学校側に頼まれ、9年ほど前につくった

のが始まり。

「心なごみ、夢がふくらむ花園です。このバラ園を大切にしながら校内で花いっぱい活動を始めました。花とのかかわりを通して、心豊かな子どもに育ててほしい。バラの世話は地釜さんと保護者の方たちも手伝ってくださっています」と倉田正信校長。

●バラ園一般開放日

5月17日(土) (13時30分～16時)

18日(日) (10時～16時)

●バラ園コンサート

5月17日(土) 13時45分から1時間

体育館で

●演奏：グループ音夢(ねむ)

☎042(391)8114

そば店の裏庭がバラ園

東村山市諏訪町の高橋健二さん夫妻が営む、手打ちそば「かなさ」と「ギャラリーグース」の裏庭にあるバラ園も5月初めからナニワノイバラや木香バラ、イングリッシュローズなどが盛りに。

庭の小径を大きな甲羅を背負ったアフリカケツメリクガメが歩いている、のどかな風景も見られます。

★東村山市諏訪町1-20-22
☎042(392)7321



コンテスト

清瀬の街並を彩る

フラワーコンテスト

雑木林にカタクリの花が咲く、清瀬の中里緑地保全地域では、3月29日から4月6日までの間カタクリまつりが開催されました。

5月になるとフラワーコンテスト

が開かれ、清瀬駅北口けやき通りの沿道が市民の手によるプランターのミニ花壇で彩られます。色合いやレイアウトなどを競い、市民投票で優秀な作品が選ばれます。(4月1日から5月8日まで受付中 先着40組)

●個人またはグループで、花・木・装飾品を用いて、作品を完成させる。

一定期間(5月11日～6月22日)花卉等の植栽や水やり等の管理ができる方が条件(市外の方も含む)。

(問) 042(492)5111
清瀬市建設部緑と公園課



花と緑の

こだいらガーデニングコンテスト

5・25(日)～6・1(日) 小平市役所正面玄関横とたけのこ公園で出展者募集 5・9(金) 17時までハンギング(壁掛け) 25点・コンテナ(寄せ植え) 30点・ミニガーデン 20区画

(問) 042(346)9581
小平市産業振興課

世界のバラと美しいガーデニング

「国際バラとガーデニングショウ」第10回を迎える国内最大規模のバラの祭典。今年のテーマは「英国ガーデンへの回帰」。会期中、西武ドームは約100万輪のバラの香りに満ち溢れます。

▼5月14日(水)～19日(月)

▼会場 西武ドーム

▼入場料 当日券

大人2000円(前売券

1700円) 小・中学生

600円(前売券600円)

★招待券プレゼント

(全体で100組200名様)

▼官製はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記して左記まで応募ください。

☎104-8552

中央区新富1-14-8-4F

国際バラとガーデニングショウ

広報事務局 ほのぼのマイタウン係

締め切り 4月26日(土) 必着



アイスバーグ